

部 方 針 書

年度	部名	部長名
R7	都市政策部	磯中 克文

1 部の経営方針（部全体を俯瞰したマネジメントの目標）

No	項目（業務、組織、人材等に関するマネジメント目標）
1	「ひとが輝き 交流ひろがる わたしたちの宇部」の実現に向け、部内一丸となり、ベクトルを合わせ、「未来プロジェクト」を着実に推進する。
2	多様なステークホルダーと共創・連携し、人口減少・少子高齢社会においても持続可能で、コンパクトでにぎわいのあるまちづくりを推進する。
3	EBPMに基づいた政策立案や制度設計に取り組み、政策の実効性を高めるとともに、行政の信頼性と透明性の向上を目指す。
4	責任と主体性を持ち、何事も自分事として捉え、業務や市民サービス等に対応できる職員を育成する。
5	日常的に管理職から職員に声掛けを行い、気軽に発言や相談等ができ、対等なコミュニケーションを交わせる、風通しの良い職場環境づくりに努める。
6	職員が挑戦を楽しみ、仕事を通じて成長を感じることができるモチベーションの高い組織を目指す。
人財育成・内部統制	管理職自らが模範となり、高いレベルで「凡事徹底」を実践することで、適切かつ効率的な事務の執行及び信頼される組織を目指す。

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	都市計画課	青木 信之

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

- ・社会経済情勢の変化に対応した都市計画制度を運用するとともに、持続可能で暮らしやすいコンパクトなまちづくりを進める。
- ・島地区においては、地元住民の理解と協力を得ながら道路等のインフラ整備を進め、地区内の生活環境水準の向上を図る。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	居住誘導区域内で実施される施策や事業を中心に、居住を誘導する受け皿が整えられ、住みたくなる、住み続けたくなるコンパクトなまちが形成される。	個別計画(都市計画マスタープラン、立地適正化計画)	都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の改定	計画の改定(R7)	都市づくりの目標、実施方針の決定	計画の改定	—
2	中心市街地に隣接した居住誘導区域として居住環境が整備され、住み続けることができるまちが形成される。	個別計画(都市再生整備計画)	島地区環境整備事業進捗率(事業費ベース)	100%(居住環境の改善)(R10)	6%(測量、設計、用地買収)	14%(用地交渉、工事)	—
3	社会情勢の変化等に応じ、都市計画道路を適正な規模・配置に見直すことで、機能的なまちづくりが進む。	個別計画(都市計画道路見直し方針)	都市計画道路の累計廃止数	・1路線事業化 ・16路線廃止(R10)	3路線(3路線廃止)	6路線(3路線廃止)	—
人財育成・内部統制	誘導施策の検討など、課題に対し解決策を導くことが多く求められることから、業務を遂行しながら、自ら考え行動し、目標に挑戦する力を身につけた人材の育成に努める。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	交通政策課	新原 英宜

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

・公共交通を維持・確保していくため、地域住民や交通事業者などと連携を図りながら、「宇部市地域公共交通計画」に基づいた施策を進め、公共交通が持続可能な移動手段となるように取り組む。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	主要幹線などの通勤・通学、買い物や通院等の日常生活に必要なバス路線が維持確保され、持続可能な移動手段となる。	前期実計	路線バス利用者数【交通局】(人/日)	5,500人/日 (R8)	4,981人/日	5,400人/日	—
2	公共交通空白地域における住民の日常生活(買い物や通院等)の移動手段が維持・確保できる。	前期実計	地域内交通利用者数(人/年)	12,000人/年 (R8)	10,984人/年	11,900人/年	未来1
3	市内で運行される鉄道が維持・確保され、持続可能な移動手段となる。	個別計画 (宇部市地域公共交通計画)	JR宇部線の利用者数(人/日)	4,000人/日 (R8)	3,620人/日	3,900人/日	—
人財育成・内部統制	機会を捉えて新しいことにも取り組むことで、各個人の能力が発揮される職場とする。また、職務を通して専門性を高めつつ、異動時にも必要となる基礎的な知識を身につける中で、法令等を順守する確認を怠ることのない職場風土とする。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	中心市街地活性化推進課	上田 靖之

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

R7年3月に認定を受けた「第2期宇部市中心市街地活性化基本計画」に基づき、市役所周辺地区で整備を進めている都市施設などのポテンシャルを活かし、中心市街地の新たな可能性を創出するとともに民間との共創にも取り組み、多くの人でにぎわい、誰もが安心・快適に暮らせるまちづくりに取り組む。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	多くの交流や出会いが生まれ、中心市街地が活性化し、にぎわいが創出される。	前期実計(重点)	市役所周辺地区における1日当たりの歩行者通行量(人)	平日5,400人 休日4,400人 (R8)	平日 4,075 休日 2,475	平日 5,300 休日 4,200	未来4
2	中心市街地の経済活動が盛んになり、にぎわいが創出される。	前期実計(重点)	営業店舗数(新天町地区ほか4地区の合計)(件)	515件 (R8)	484件	509件	未来4
3	多世代の交流が図られるとともに、イベント開催地周辺への新たな回遊性が促進されることにより、周辺地域が活況を呈し、にぎわいが創出される。	前期実計(重点)	中心市街地イベント参加者数(3大祭り以外)	6.5万人 (R8)	5.7万人	5.9万人	未来4
人財育成・内部統制	定期監査にて改善を要する事項として挙げられた事務処理のミスなどを防ぐためには、チェックリストの活用に加えて、日ごろから誰がどのような仕事をしているのか、課内の全員が認識していることが重要であるため、まずは課内の全員が誰とでも話し合える環境を整えることから、業務の見える化に繋げていきたい。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	住宅政策課	上原 学

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

・住宅セーフティネットとして住宅に困窮する低額所得者に対し低廉な家賃で住宅を供給するため、市営住宅の計画的な建替、保全、管理を行うとともに関係部局と連携し、地域課題の解消や地域力の向上を図る。
 ・安心、安全に暮らすことのできる生活環境や景観を維持していくため、空き家等の適正管理や管理不全空き家発生の未然防止に取り組むとともに、空き家を増加させないために空き家の活用を促進するなど空家等に関する施策を推進する。
 ・物価高騰下における経済対策として「健康・省エネ住宅リフォーム助成金」支援制度を実施することで地域経済を支えるとともに、市民の健康維持増進へつながる健康で安心に暮らせる健康・省エネ住宅の普及促進を図る。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	高齢化が進んでいる既設住宅において、段差部に手摺を設置し、一定のバリアフリー化を行うことで、入居者が安心して生活できる住環境を整備する。	前期実計	高齢者に配慮した市営住宅の整備割合(%)	65% (R8)	59%	62%	—
2	生活利便性の高いエリアにおいて、需要が増加する高齢者世帯向けを主とした市営住宅を整備することで、快適で安心・安全な住宅を供給する。	個別計画 (宇部市公営住宅等長寿命化計画)	海南団地建替事業の計画的な推進	生活基盤に配慮した住宅の建替 (R14)	実施設計の実施	実施設計、造成設計の完了	—
3	空き家所有者による適切な管理や利活用を促進し、適切に管理されない空き家の発生を抑制することで、安心、安全に暮らすことのできる生活環境を確保する。	個別計画 (宇部市空家等対策計画)	空き家等の適正な管理指導(相談を受けた空き家の改善率%)	50% (R7)	24.2%	50%	—
4	健康・省エネ住宅に資するリフォーム工事の一部を支援することで、物価高騰下における市民生活や事業者の事業活動を支えるとともに、健康・省エネ住宅の普及を促進し、市民の健康増進につなげる。	その他	健康・省エネ住宅の普及促進(予算執行率%)	100% (R7)	83.5%	100%	—
人財育成・内部統制	「行政事務を適正に執行するための手引」に沿って作成したリスク一覧表の各項目について、内部モニタリングや職員相互の声掛けを通じて職員一人一人がしっかりと認識し、実際の行動に繋げていくことで、業務を正確に行い、ミスが起こりにくい業務プロセス・環境の実現を図る。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	新庁舎建設課	紅野 寛

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

- ・災害発生時の防災拠点や市民交流を促すまちづくりの拠点として、市民の安心安全や市民活動を支える庁舎を目指す。
- ・ユニバーサルデザインを徹底し、誰もが安心して快適に利用できる庁舎を目指す。
- ・市役所周辺地区のにぎわい創出に寄与するため、庁舎広場や真締川公園、常盤通りを一体的に整備する。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	防災やまちづくりの拠点として整備することで、市民の安心安全や市民活動を支えるとともに、ユニバーサルデザインにより、誰もが安心して利用できる庁舎となる。	個別計画 (宇部市本庁舎建設基本計画)	本庁舎建設事業進捗率 (事業費ベース)(%)	100% (R7)	96.8%	100%	未来4
2	庁舎広場や真締川公園、常盤通りを魅力的で快適な滞在空間となるよう一体的に整備することで、市役所周辺地区のにぎわい創出に繋がる。	前期実計(重点)	市役所周辺地区整備事業 進捗率(事業費ベース)(%)	100% (R8)	45.7%	78.3%	未来4
人財育成・内部統制	【内部統制】 課の解散に伴う引継ぎプロセスを適切に設定し、引継ぎの進捗を定期的に確認することで、業務をスムーズに移行する。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	公園緑地課	青山 剛

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

- ・都市公園のストック効果向上に向け、市民ニーズに合った公園の機能再編に取り組む。
- ・都市公園施設長寿命化計画等に基づき、年次的に老朽化した遊具やトイレなどの公園施設について、市民ニーズを取り入れながら更新を行う。
- ・街路樹の適切な維持管理を行うことにより、快適で安全な歩道空間を創出する。
- ・ガーデンシティうべ構想に基づき、緑と花と彫刻が調和し、心豊かに暮らせる都市空間を市民協働で創出する。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	岩鼻公園の土砂災害リスクの排除と自然樹林の適正管理が行われている。	個別計画	整備完了	整備完了 (R7)	測量設計完了	整備完了	—
2	変化する社会情勢や気象状況に合った、持続可能な花壇コンクールへの見直し。	個別計画	事業改善	見直し完了 (R9)	課題整理 参加者アンケート実施	素案作成	—
人財育成・内部統制	外部委託する業務の適正な履行確認と財務会計処理の実施。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	建築指導課	沖永 靖行

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

- ・都市計画法、建築基準法に基づき、建築物の許可、認定、審査、検査、開発行為の許可及び検査等を行い、建築物の品質の確保、良好な宅地の供給を図る。
- ・災害に強いまちづくりを実現するため、建築物については、耐震改修促進計画に基づき、建築物の耐震化や危険ブロック塀等の撤去の支援を行い、宅地については、国土強靱化基本計画に基づき、大規模盛土造成地の安全性の把握により、地震時の宅地の被害の軽減、防止に取り組む。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	危険性の高いブロック塀等の撤去により、地震時の通行者等の安全を確保し、ブロック塀等の安全対策を促進する。	前期実計	危険ブロック等の撤去補助金交付件数(累計)	97箇所 (R8)	55箇所	70箇所	—
2	木造住宅の耐震化を促進し、災害に強い安全なまちづくりを推進する。	前期実計	木造住宅の耐震診断、耐震改修、除却補助の予算執行率(%)	100% (R7)	92%	100%	—
3	大規模盛土造成地の経過観察を継続的に行い、住民の安心安全な住環境を確保する。	前期実計	大規模盛土造成地の経過観察調査計画の策定完了	経過観察調査計画策定完了 (R7)	経過観察マニュアルに基づく調査完了	経過観察調査計画策定完了	—
人財育成・内部統制	建築基準適合判定資格者(建築主事)資格取得を促し、持続的な業務執行体制を整える。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	営繕課	黒田 未来

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

- ・安心安全なまちづくりを目指し、適切な設計及び工事監理業務を通じて、市民の財産である学校や市営住宅、官庁施設などの公共施設の品質確保を図る。
- ・公共施設を安全で快適な施設として長期活用するために改築・改修し、強靱かつ高質な都市環境を整える。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	庁内から受託する営繕業務の円滑な推進	その他	—	—	—	—	—
人財育成・内部統制	現場での課内研修を定期的を実施することで、工事監理の技術的スキルの向上を図り、課全体のパフォーマンスの向上を目指す。						